

新訂「童子謡（どうじうた）」現代語対訳付

[底本は国立国会図書館デジタルコレクション・特44-334号文書]

松田 實 (Mignon Minoru Mazda)

「童子謡」 全

明治7（1874）年官許 本年7月刻成

童子謡 北条県（岡山県北部）管轄下 梅竹居（能勢道仙居所）蔵版

「蒙以養正」：児童を正しく教え導き修養させよ（「易経・彖伝」から引用）

『方谷先生書』（この本に山田方谷先生から書き与えられた言葉を記す）

代序（序文）

綴作歌謡數百言 數百言（以下の173首）の歌謡（漢文詩）をつづった

童蒙入學是其門 これをもって小学校に入学する児童に学ばせるべきである

婆心一片異休笑 余計な老婆心だが、一片の（わずかな）笑いも異図している

雖伏草菜酬國恩 民草（一般社会）の児童は国の恩恵に対し報いるべきだろう

梅竹居主人題 梅竹居の主人「能勢道仙」がこれの著者である

童子謡

能勢道仙著

[本文記事：原文、漢文書き下し文、及び現代語対訳]

001 夫童子之所須知 / 夫レ童子之知ル所ニ須ル

これらは児童に知らしめなければならない所としてもちいる

002 作謡歌之代戲嬉 / 謡ヲ作り之ヲ歌イ戲嬉ニ代ユ

この謡を歌い、児童が学問に喜び戯れることに代えたくして作る

003 上覆者天下載地 / 上ニ覆フ者ハ天、下ニ載ルハ地

まず、この世界の上にあるのは天、下にあるのは地という

004 日月星辰天象垂 / 日月星辰ハ天象垂ル

太陽、月、星の運行は天における現象である

005 地亦空中一星身 / 地ハ亦空中ノ一星身

地球もまた一つの星である

006 故興月星同轉移 / 故二月星ト同ク轉移ヲ興ス

故に月や星と同様に動いている

- 007 唯日居中光且熱 / 唯日ハ中ニ居リ光リ且熱ス
太陽はその中心で光ると共に熱を出している
- 008 昼夜暑寒實由茲 / 昼夜暑寒ハ實ニ茲ニ由ル
昼夜の別や寒暖の差はこれにより生じている
- 009 雨露霜雪又雲霧 / 雨露霜雪又雲霧
まず、空には雨、露、霜、雪、雲、そして霧が存在する
- 010 昇降變化互相施 / 昇降變化互ニ相施ス
これらの変化は互いに関係がある
- 011 人物繞地到處着 / 人物地ヲ繞リ到リテ處ニ着ク
人や物は地をめぐり到ってその所にある
- 012 上大氣壓有且圍 / 上ニ大氣ノ壓有リ且圍ム
上からは大気の圧力があり、かつ世界を囲んでいる
- 013 大地引力又牽住 / 大地ノ引力又牽住ス
大地には引力があり、これもまた同時に存在する
- 014 附麗不離奚容疑 / 附麗離ズ奚疑ヲ容ン
ものごとには必ず原因があり、疑うには及ばない
- 015 養輕淡炭氣有四 / 養輕淡炭ノ氣ハ四輕有リ
天然自然にある「気」のあり方には、養輕淡炭の四通りがある
- 016 輕氣時動為風吹 / 氣ハ時ニ動テ風ヲ為シ吹ク
軽い大気が時に動いて風となって吹く
- 017 別有雷電成一氣 / 別ニ雷電有リー氣ニ成ス
それとは別に雷があり、大気が一気に動く
- 018 取為器械是電氣 / 取テ器械ヲ為ス是レ電氣ナリ
器械を持って測れば雷は電氣である
- 019 天文地理古尚暗 / 天文地理古尚ヲ暗シ
天文学や地理学は昔からあるが分からない事が多い
- 020 方今發明無所遺 / 方ヤ今モ發明ヲ遺ス所無シ
方や今も発明の可能範囲はそこら中にある
- 021 五行水火木金土 / 五行ハ水火木金土
万物を組成する五行は、水、火、木、金、そして土からなる
- 022 其理亦未究精微 / 其理未ダ精微ヲ究ズ
この理由は未だ細かく探究されてない
- 023 元質六十有餘品 / 元質ハ六十余品
この世の元となる根源的物質は六十余りの物品である

- 024 化成萬物生植滋　／　化シテ萬物ヲ成ス生植滋シ
全ての生き物は生植して増える
- 025 禽獸草木蟲魚介　／　禽獸、草木、蟲、魚介
これらには動物、植物、昆虫、そして魚貝類が存在する
- 026 萬物之靈人當之　／　萬物之靈人之ニ當ル
全ての物の上位に人の靈が存在する
- 027 人中至尊稱天子　／　人中至尊、天子と稱ス
人々の中で最も尊い人を天子（天皇）としてとなえる
- 028 繼天立極高巍々　／　天ニ繼極ヲ立高シテ巍々
天子（天皇）は時々継続しつつ、位高くしてその影響は大きい
- 029 三種神器劍鏡璽　／　三種ノ神器劍鏡璽
三種類の神器は劍、鏡、璽（勾玉）のしるしからなる
- 030 寶祚萬年無盡期　／　寶祚萬年期ヲ盡ル無シ
これらの宝物は永年受け継がれ、尽きることがない
- 031 公卿以下至士庶　／　公卿以下士庶ニ至ル
人の身分は公卿（貴族）から武士や庶民まで存在する
- 032 乃爲百官爲百司　／　乃チ百官ヲ爲シ百司ヲ爲ス
すなわち、百通りの地位から百通りの役割がある
- 033 人々奉職執事務　／　人々職ヲ奉ジ事努ヲ執ル
人々はその職業を持ち、それに応じた責務にあたる
- 034 經理國家護四陲　／　國家ヲ經理シテ四陲ヲ護ル
国家国民を統率管理するために四種の身分がある
- 035 人類業異名亦別　／　人類業異レバ名亦別ル
すべての人の業（なりわい）が異なるため、その名称も別々である
- 036 士農工商及巫醫　／　士農工商及巫醫
身分は武士、農民、工（職人）、商人、及び神官僧侶と医者である
- 037 神官僧侶各守分　／　神官僧侶ハ各分ヲ守リ
神官や僧侶は各々その業務を守る
- 038 亦皆勤業供役廝　／　亦皆業ヲ勤メ役廝ニ供ス
また、すべての人には職業があり、それぞれに役立てている
- 039 五常仁義禮智信　／　五常ハ仁義禮智信
人が守るべき道徳を五常といい、仁、義、礼、智、そして信である
- 040 人身備之言彝兼　／　人身之ヲ備ウ彝ヲ秉ルト言ウ
人間がこの道徳を身につければ人道に厚いと言う

- 041 五教親義別序信 / 五教ハ親義別序信
人が守るべき五つの教えは、親、義、別、序、それに信である
- 042 人道不可須臾離 / 人ノ道須臾離ルスベカラズ
この教えに人の道があり、離れてはいけない
- 043 喜怒哀楽愛惡欲 / 喜怒哀楽愛惡欲
人の心には、喜、怒、哀、楽、愛、惡、そして欲がある
- 044 是七情也當慎幾 / 是七情なり當ニ幾ヲ慎ムペシ
これを七情といい、常に幾（平静）を慎むべきである
- 045 身体髮膚受父母 / 身体髮膚父母ニ受ク
人間の身体、髪、そして皮膚は父母より受けるものである
- 046 父母幹而身則枝 / 父母ハ幹ニシテ身ハ則チ枝ナリ
父母は木の幹であり、自分の身はその枝である
- 047 頭兼手足曰五軀 / 頭ト手足ヲ兼テ五軀ト曰ウ
頭と手足を兼（あわせ）て五体という
- 048 五臟心肺肝腎脾 / 五臟心肺肝腎脾
五臟は心臓、肺、肝臓、腎臓、そして脾臓からなる
- 049 外貌眉眼耳鼻口 / 外貌ハ眉眼耳鼻口
顔かたちは眉、眼、耳、鼻、そして口から始まる
- 050 胸腹腰背筋骨皮 / 胸腹腰背筋骨皮
その他の部分は、胸、腹、腰、背筋、骨、そして皮からなる
- 051 不敢毀傷孝之始 / 敢ズシテ毀傷セザルハ孝之始
あえて身体を傷つけないことが孝行の始めである
- 052 孝悌即是仁之基 / 孝悌即ハチ是仁之基ナリ
孝行と従順は、これ即ち仁の基礎である
- 053 禮樂射御併書數 / 禮樂射御書數ヲ併セ
礼儀、音楽、弓術、馬術、書（読み書き）、算数という技能がある
- 054 古曰六藝所當爲 / 古六芸ト曰ウ當ニシテ爲ス
これらを古来より六芸と言い、常日頃より存在する
- 055 禮樂自有國典在 / 禮樂自ラ国典ノ在ニ有リ
礼儀作法と音楽は、国家の式典様式において自ずからある
- 056 朝野遵奉長弗墮 / 朝野ハ遵奉シ長ク墮弗ス
天下にある世間一般ではこれを大切にし、長く保持している
- 057 射御亦我古武技 / 射御亦我古ノ武技
弓術もまた我々が古来よりもつ武力の技能である

- 058 邦俗長武比倫稀　／　邦俗ハ武ヲ長ス比倫稀ナリ
この国の風俗は武道を重んじるが、これは希である
- 059 外國伝來唯銃礮　／　外国ヨリ銃礮ガ伝来ス
外国より大砲や銃が伝来した
- 060 百中不復失毫釐　／　百中復タ毫釐ヲ失ズ
それは百発撃っても僅かなもの（弾丸と火薬）しか失わない
- 061 雖然講武官有法　／　然レ雖モ武官ヲ講ジル法有リ
しかしながら、武官（武士）を講義（指導）するための法令がある
- 062 習技貯器不許私　／　技ヲ習ウ器ヲ貯ル私ヲ許サズ
砲撃武装の技術を習うが、この器（銃砲）を貯え、私用は許されない
- 063 書數童學最所急　／　書數ハ童學ノ最モ急ナル所
書（読み書き）と算数は児童教育の最も急を要する学問である
- 064 夙從其師勿遲々　／　夙ニ師ニ從イ遅々トスル勿レ
それゆえ教師に従い、学習から遅れてはいけない
- 065 讀書今爲學問要　／　讀書學問ノ要ヲ爲ス
今、読書は学問をする上の要（かなめ）とせねばならない
- 066 神典國史先繙披　／　神典国史先繙トキ披ク
まずは、神話、伝説、日本史から読み解きを始めること
- 067 和歌古今有長短　／　和歌ハ古今ヨリ長短有リ
和歌においては古今、即ち古来より長歌と短歌がある
- 068 卅一言最見風姿　／　卅一言ニテ最モ風姿ヲ見ル
三十一の言葉からなる短歌は、最も良い姿を表現する
- 069 四書五經漢土籍　／　四書五經ハ漢土ノ籍
四書五經は中国大陆から伝来した文書である
- 070 又有歴史興文詩　／　又歴史ト文詩與ニ有リ
また、これは歴史と文学を表すものである
- 071 五洲萬國各有字　／　五洲萬国各字有リ
地球上の五州にある万国には各々の文字がある
- 072 其書千萬皆新奇　／　其書千萬皆新奇ナリ
それらの書物はみな千や万に及ぶ新奇なものである
- 073 就中擇其切近者　／　就中其切デ近イモノヲ擇ビ
それらの中で日本の風土に近いものを選ぶこと
- 074 翻譯彼文爲我辭　／　彼文ヲ翻譯シテ我辭ト爲ス
そして、それらの文書を翻訳して我々の言葉にする

- 075 小學所課乃是物 / 小學ニテ課スルハ乃チ是ノ物ナリ
小学校で課題として採用すべきはこの書物である
- 076 簡直平易可唔咿 / 簡直平易唔ス可シ
難しい言葉を簡単にやさしい言葉に置き換えて読み聞かせるべし
- 077 誦讀晨夕不可怠 / 誦讀晨夕怠可ラズ
教科書の通読を朝夕怠ってはいけない
- 078 日逝月去駟難追 / 日逝き月去駟追イ難シ
日にちや月という時間はすぐに過ぎ去り、後戻りできない
- 079 二十四字一日夜 / 二十四字ヲ一日夜トス
二十四の単位時間を一日（一昼夜）とする
- 080 日月時歳次第推 / 日月時歳次第二推ス
日や月、時間及び年は自然と進行する
- 081 月是十二有大小 / 月是十二大小有リ
各々の月は十二あり、それぞれに大小がある
- 082 春夏秋冬是四時 / 春夏秋冬ヲ是四時トス
春夏秋冬を四季とする
- 083 日是三百六十五 / 日ハ是三百六十五
一年の日数は三百六十五である
- 084 累積合算成歳暮 / 積累合算ニテ歳暮ヲ成ス
それを積み重ねたものが年である
- 085 四歳一日置餘閏 / 四歳一日餘閏ヲ置ク
四年に一回、「閏（うるう）日」を加え置く
- 086 終而複始無參差 / 終而複始ル參差無シ
暦の終わりと始まりには誤差が無い
- 087 甲乙丙丁戊己庚 / 甲乙丙丁戊己庚
暦の単位に、甲、乙、丙、丁、戊、己、そして庚がある
- 088 辛壬癸及子丑寅 / 辛壬癸及子丑寅
次に、辛、壬、癸、及び子、丑、そして寅がある
- 089 卯辰巳午未申酉 / 卯辰巳午未申酉
それに続き、卯、辰、巳、午、未、申、そして酉がある
- 090 戌亥名之曰干支 / 戌亥之ヲ名ケテ干支ト曰ウ
あと、戌と亥があり、これら全てを名付けて干支と言う
- 091 紀歲月日表字刻 / 歲月日ヲ紀シ字刻ヲ表ス
干支を含む年、月、それに日を記し、その時期を表記する

- 092 度千萬年無乖違　／　千萬年ヲ度リテ乖違無シ
これによれば千年や万年にわたり、その時を間違うことがない
- 093 又有年號以名歲　／　又年號ガ有リ以て歲ノ名トス
また年号があり、その年の名称を持つ
- 094 方今知須是明治　／　方ヤ今須是ヲ明治ト知ル
ただいまの年号は「明治」であると知るべし
- 095 五節中元今已廢　／　五節中元ハ今已ニ廢ス
五節句や中元は、現在既に廃止されている
- 096 沙汰奢侈戒狂癡　／　奢侈ヲ沙汰シ狂癡ヲ戒ム
華美贅沢を各々判断し、愚かなことを戒め止めている
- 097 諱日祭辰天長節　／　諱日ノ祭辰ヲ天長節トス
天皇誕生日を祝日とし、お祭りとする
- 098 欽慕神德仰皇威　／　神德ヲ欽慕シ皇威ヲ仰グ
この日は神様の徳を慕い、皇室の威厳を敬う
- 099 威德光被四方國　／　威德光四方ノ国被ス
その徳は四方の国々にも影響する
- 100 締交不復論華夷　／　交ヲ締ンデ復タ華夷ヲ論ゼズ
諸国家と国交を結んで、互いの上下関係を論じない
- 101 四方東西興南北　／　四方ハ東西南北與
この世界の四方とは東西南北とする
- 102 分為五州各有畿　／　分テ五州ヲ為ス各畿有リ
世界を分けて五州とし、各々の地域がある
- 103 亞細亞又歐羅巴　／　亜細亜ヤ欧羅巴
地域にはまずアジア、ヨーロッパがある
- 104 南北阿墨又阿非　／　南北阿墨又阿非
また、南北アメリカやアフリカがある
- 105 中列萬國難枚舉　／　中ニ萬國列ル枚挙ハ難シ
それらの中には数万の国があり、数えることは困難である
- 106 東南海島更渺瀰　／　東南海島更ニ渺瀰ナリ
（世界地図の）南東に海や島があり、さらに大きく広がっている
- 107 別爲一州亦有理　／　別ニ一洲ヲ亦理有リテ爲ス
それぞれが別の存在理由で一つの州をなしている
- 108 審之當觀地球儀　／　之ヲ審ニスル當ニ地球儀ヲ觀ペシ
これを学ぶ時は地球儀をみるべきである

- 109 皇國位置要先識 ／ 皇国位置ハ先識ヲ要ス
皇国である日本国の位置をまず先に知ることが大切である
- 110 亞細之東海一涯 ／ 亜細之東海ノ一涯
日本はアジアの東海にある一国家である
- 111 國數往昔六十六 ／ 國数ハ昔六十六往
日本国内における旧国名の数ハ昔六十六であった（註記参照）
- 112 今分八十互維持 ／ 今八十二分レ互ニ維持ス
現在は八十に分かれ、互いにこれを維持している
- 113 府縣鎮臺鄉村郡 ／ 府縣鎮台鄉村郡アリ
まず、府、県、鎮台（軍管区）、郷、村、そして郡がある
- 114 安排布列恰如基 ／ 安排布列恰モ基ノ如シ
これらの分布具合は囲碁のようになっている
- 115 凸而峙者名山岳 ／ 凸而峙者ヲ山岳ト名ク
天へ向ってそびえ立っている所を山岳と名づける
- 116 凹而瀦者曰澤陂 ／ 凹而瀦者ヲ澤陂ト曰ウ
大地がくぼんで水が貯まっている所を澤陂（湖沼と堤）という
- 117 水流不息是川也 ／ 水ハ流テ息ズル是川也
水が流れて止まないところは川である
- 118 流悉入海不復歸 ／ 流テ悉く海へ入リ復歸セズ
水が流れた川は全て海に入り、元へ復歸はしない
- 119 海水不増也不減 ／ 海水ハ増タリ減ゼズ
海水は増えたり、また減ったりはしない
- 120 此理最妙須尋思 ／ 此理ハ最妙ナリ須く尋思スベシ
この理由はよく分からず、より深く考える必要がある
- 121 航海渡川舟輿筏 ／ 海ヲ航リ川ヲ渡ル舟筏與ス
海を航行するなり、川を渡る時は船や筏を使う
- 122 檣帆楫櫓國章旗 ／ 檣帆ト楫櫓ニ國章旗
船や筏の帆柱と船尾には国旗を掲げ、国際海洋法を守る
- 123 火輪尤是重器械 ／ 火輪ハ尤モ重ズル器械
この時、汽船（火輪）は最も重要な器械設備である
- 124 来往大洋如小池 ／ 大洋ヲ来往スルコト小池ノ如シ
大きな海洋を往来するのに小池を渡るようである
- 125 陸行馬車又蒸汽 ／ 陸行ハ馬車又ハ蒸汽
陸地を移動するには馬車又は汽車を用いる

- 126 一瞬轟々自在飛　／　一瞬轟々自在飛ブ
汽車は轟々と響き自在に飛ぶようである
- 127 書信往復郵便在　／　書信ノ往復郵便在リ
書類や手紙類を往復させる郵便制度がある
- 128 四面八隅傳命馳　／　四面八隅命ヲ傳ヘ馳ス
全ての国の隅々までこれらの郵便物を伝えることができる
- 129 奇巧尤物電信器　／　奇巧ノ尤物ハ電信器
驚くべき器械に電信機がある
- 130 迅速難測妙叵窺　／　迅速測難ク妙窺叵シ
その速度は測りがたく、うかがい知ることができない
- 131 是等皆外国所長　／　是等皆外国ノ長ズル所
これらのものは、みな外国が長じている
- 132 採彼所長補我虧　／　彼ノ長所ヲ採リ我ノ虧ルヲ補ウ
この長所を採用し、我らの発展を補うべきである
- 133 我之所長農桑是　／　我之長所ハ農桑是ナリ
我々の長所は、農業や養蚕業である
- 134 國名瑞穂土自肥　／　国ハ瑞穂ト名ケ土自ラ肥ユ
日本の国は瑞穂（みずほ）と名付けられ、まず土地が肥えている
- 135 五穀稻黍菽麦稷　／　五穀ハ稻黍菽麦稷
五穀はイネ、キビ、マメ、ムギ、そしてアワからなる
- 136 種栽田圃可無飢　／　種ハ田圃ニ栽テ飢無ルペシ
これらの種を田や畑に植えて飢えることが無いようにすべきである
- 137 培養耕耘適其度　／　培養耕耘其度ニ適ス
作物の育成の為、土地の耕耘をその都度行うのが適している
- 138 成相千萬成倍蓰　／　或ハ相千萬或ハ倍蓰
これらの収穫量は千や万単位の倍増となる
- 139 槿花蠶絲及麻枲　／　槿花蚕糸及ビ麻ヤ枲（カラムシ）
槿花（羽毛状の花を咲かせるトウカ）や絹糸、麻および枲（カラムシ）がある
- 140 縫績織紵以供衣　／　縫績シ織紵テ以テ衣ニ供ス
これらを糸に紡績し、織りなして衣とする
- 141 五畜牛馬鶏犬豕　／　五畜ハ牛馬鶏犬豕
五畜は牛、馬、鶏、犬、そして豚である
- 142 共役充食各随宜　／　役ニ供シ食ニ充テ各宜ニ随ウ
それぞれ使役したり食べたりして様々に利用する

- 143 家屋取材於竹木　／　家屋材ヲ竹木ニ取り
家屋の建材は竹と木から取る
- 144 或用瓦萱或茅茨　／　或ハ瓦或ハ茅茨ヲ用イテ葺く
屋根は瓦、あるいは茅茨（チガヤとイバラ [カヤ]）を用いて葺（ふ）く
- 145 室中随處敷筵席　／　室中随處ニ筵席ヲ敷ク
部屋の中では随所に蓐（ワラ）を用いた敷物を置く
- 146 廣狹適宜著障帷　／　廣狹宜ニ適シテ障帷ヲ著ク
部屋の広さ狭さに適する障子や「幕（トバリ）」を置く
- 147 夙興掃塵速就業　／　夙ニ興キ塵ヲ掃キ速ニ業ニ就ク
早起きをし、塵を掃き清めた後は速やかに仕事にあたる
- 148 夜寝警火堅鎖扉　／　夜寝ニ火ヲ警メ堅ク扉ヲ鎖ニテ鎖ス
夜寝の時は火気（火の元）の安全を確保し、扉の施錠を堅くする
- 149 貨幣金銀及銅楮　／　貨幣ハ金銀及銅楮
貨幣には金、銀、銅と楮（コウゾ：和紙紙幣）を用いる
- 150 是為交易之本資　／　是ヲ交易之本資ト為ス
これらを交易の資本金とする
- 151 交易方今最急務　／　交易ハ方今最急務ナリ
国際交易はただ今最も急務である
- 152 開港之地列海湄　／　開港之地海湄ニ列ル
国際港の地は海岸に連なっている
- 153 横浜兵庫及新潟　／　横浜兵庫及ビ新潟
まずは、横浜、兵庫（神戸）それに新潟である
- 154 東有箱館西長崎　／　東ハ箱館有リ西ハ長崎
東の開港は函館、西は長崎である
- 155 百貨輸出獲大利　／　百貨輸出シテ大利ヲ獲ル
様々なものを輸出して大きな利益を得ている
- 156 尤重茶葉興蠶絲　／　尤も茶葉與蚕糸ヲ重ンズ
茶葉や絹糸（蚕糸）を最も重んじて扱っている
- 157 輸入諸品其尤夥　／　輸入ノ諸品其尤夥キハ
輸入する物品ではなほだしいのは次のものである
- 158 綿布嗶呢及玻璃　／　綿布嗶呢及ビ玻璃
木綿の布、毛織物及び玻璃（ルリ：ガラス器）などである
- 159 内地商法亦日盛　／　内地ノ商法亦日ニ盛ナリ
国内における商業も日々盛んである

- 160 物精價廉不相欺　／　物ニ精ク價廉ニ相欺カズ
商売では物品の知識に詳しくし、値段をごまかしてはならない
- 161 衣食住具生涯足　／　衣食住具バ生涯ニ足ル
衣食住が備われば生涯に渡って足りる
- 162 仰事俯育樂雍瀝　／　仰事俯育樂雍瀝
政府の決まり事に従えば天下が楽に治まり、発展（育成）する
- 163 唯畏飽暖逸居輩　／　唯畏ル飽暖逸居ノ輩
ただおそれるべきは飽食暖衣（安穩）な生活を営む人間である
- 164 不免古人禽獸訾　／　免ズ古人禽獸ノ訾
これは古代の人から野生動物のようだとそしられても免れない
- 165 聖明深鑒庠序教　／　聖明深ク鑒庠序ニテ教ミ
まず、正しくて明らかなことを深く鑑み、学校（庠序）で教えるべし
- 166 都邑郷黨立學師　／　都邑郷黨學師ヲ立ル
次に、町、村、そして里に学問の師（教師）をおくこと
- 167 斟酌和漢萬國間　／　和漢萬國ノ間ヲ斟酌ス
そして、日本や中国を含む万国間の関係をよく考えること
- 168 嚴設課程授童兒　／　嚴ニ課程ヲ設ケ童兒ニ授ク
厳しい教育課程を設定し、授業を児童に受けさせること
- 169 君不見皇風加處　／　君見ズヤ皇風加ル處
天皇の徳を加えたものを見て学習するべきである
- 170 草木靡開化一新　／　草木靡キ開化一新
今現在、植物がなびくような一新の文明開化のもとにある
- 171 仰德輝寄語學中　／　德輝ヲ仰ぎ學中ニテ語ヲ寄ス
道徳を仰ぎ、学校の中で述べ伝えること
- 172 秀才子一等高級　／　秀才ノ子ハー等ノ高級
学問に秀でた者はより一段高い存在となる
- 173 属阿誰　／　阿誰ニ属ス
どうすれば良い教師から学べるだろうかを考えよ

[童子謡の本文はここまで]

註記. 江戸時代の旧国名一覧（ここでは71カ国に分類）

蝦夷	陸奥	陸中	陸前	出羽	羽後	常陸	岩代	磐城	上野	下野	武蔵	上総
下総	安房	相模	越後	佐渡	越中	越前	若狭	甲斐	信濃	美濃	飛騨	伊豆
駿河	遠江	三河	尾張	伊勢	伊賀	志摩	紀伊	近江	丹波	丹後	攝津	和泉
河内	播磨	但馬	丹波	淡路	山城	大和	因幡	伯耆	石見	出雲	隠岐	備前
備中	備後	美作	阿波	讃岐	伊予	土佐	筑前	筑後	壱岐	豊前	豊後	肥前
肥後	対馬	日向	薩摩	大隅	沖縄	琉球						

謝辞. 本文献の編纂にあたり、岡山県鏡野町の和仁守先生の御指導を賜った。

（以下余白）